



お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

困ったときは

付録

取扱説明書

三菱カーナビゲーションシステム



NR-MZ25シリーズ






安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

HN-002-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な故障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す

\oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。



強制

説明書に従って接続・取り付ける
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、
火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープ
などで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因と
なります。

車体やネジ部分、シートレールな
どの可動部にコードを挟み込まな
いよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の
原因となります。

コード類は運転操作の妨げとなら
ないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダ
ルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電
装品が元通り正常に動作するか確
認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や
感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の
手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相
談してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接
当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因とな
ることがあります。

アンテナやモニターを不安定なと
ころに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因とな
ることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合が
あるため、保護回路が働かなくなり、火災の
原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部
に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッ
テリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。
電流が不足して、バッテリーから直接電源を
取る場合は、専用の配線キットを使用してく
ださい。



禁止

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因とな
ることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこ
り、油煙などが混入するところ
には取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように
配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災
や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後
からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因と
なることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込
む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因
となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となりま
す。必ず安全な場所に停車してから操作し
てください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だ
けを見ながらの後退運転はしない
バックカメラの映像は広角レンズを使用し
ています。実際の距離と感覚が異なるので、
人や物にぶつかる恐れがあります。また、必
ず目視による安全確認を行いながら後退し
てください。カメラの死角になっている人
や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の
原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を
入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特に
お子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコ
ンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルな
どの下に入り込むと運転の妨げになり、交通
事故の原因となります。



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに
従って走行すると、実際の交通規制に反する
場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブ
レーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示
されません。

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火
災や故障の原因となります。



注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることが
あります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因
となることがあります。



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う



警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手
の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表
示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となるこ
とがあります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれい
な水で洗ったあと、ただちに医師にご相談く
ださい。



注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加
熱をしたり、火や水の中に入れて
ない
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原
因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることが
あります。

指定以外の電池の使用や、新しい電
池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因とな
ることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

👉 こんな機能が使えます

本機をより便利にお使いいただくためには、事前に行っていただきたい設定や登録作業などがあります。

はじめに

簡単セットアップ

▶12ページ

ナビゲーション

地図操作、検索、ルート案内、渋滞情報の活用など多彩なナビゲーション機能をお使いいただけます。

地図
表示/操作

▶27ページ

ルート案内検索

▶30ページ

渋滞対応

▶34ページ

AV

多彩なメディアに対応しています。

Bluetooth
Audio

☐「Bluetooth
Audioを使う」

その他
AVソース

▶38ページ

その他

携帯電話の接続が可能です。

携帯電話

▶10ページ

▶：本書内の参照ページです。

☐：ユーザズガイドをご覧ください。

ユーザズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。

目次

お使いになる前に

はじめに.....	8
取付要領書.....	8
取扱説明書(本書).....	8
ユーザズガイド.....	9
本書の見かた.....	10
本書の表記のしかた.....	10
ご使用前に知っておいていただきたいこと... ..	10
緊急施設の検索やルート案内について.....	10
地図データについて.....	10
バッテリー上がりを防ぐために.....	10
バッテリーを外すときのご注意.....	10
本機と接続可能な通信機器について.....	10
SDカードについて.....	10
著作権.....	11
お客様が保存されたデータについて.....	11
オートアンテナ車のご注意.....	11
設定の初期化について.....	11
初期学習について.....	11
その他.....	11
簡単セットアップをしよう.....	12
簡単セットアップ画面の見かた.....	12
連携アプリについて.....	13
NaviCon.....	13

基本操作

本機の基本操作を覚えよう.....	14
各部の名称と主な働きを覚えよう.....	14
ナビゲーション.....	14
ハンズフリー通話用マイク(別売).....	15
ナビゲーションの電源について.....	15
自宅を登録しよう.....	15
携帯電話を登録しよう.....	15
SDカードの入れかた・取り外しかた.....	16
SDカードの入れかた.....	16
SDカードの取り外しかた.....	17
画面を見やすく調整してみよう.....	17
モニターの角度を調整する.....	17
画質を調整する.....	17
地図画面とAVソース画面を 同時に表示してみよう.....	18
ナビゲーションの音量を調整してみよう... ..	18
カスタムキーの操作を覚えよう.....	18
カスタム機能を設定する.....	18
カスタム機能を使う.....	19
現在地を登録してみよう.....	19
登録した場所を編集してみよう.....	19
メニューの操作を覚えよう.....	21
セントラルメニュー.....	22
NAVIメニュー.....	22
AVメニュー.....	22
ビュメメニュー.....	23
情報メニュー.....	23
設定・編集メニュー.....	24
携帯電話メニュー.....	24
ショートカットメニューの操作.....	24
リスト画面の操作を覚えよう.....	25
基本的なリストの操作.....	25
その他のリスト操作.....	25
50音タブ付きリストの操作.....	25
ポップアップメニューの操作.....	25
並べ替えの操作.....	25

チェックタイプリストの操作.....	26
インジケータ付きリストの操作.....	26

ナビゲーション

地図の見かたや操作を覚えよう.....	27
現在地画面の見かた.....	27
昼間と夜間の色の違いについて.....	27
画面下部に表示されるアイコンについて.....	27
地図を動かす.....	28
地図のスケールを変える.....	29
地図の向きを変える.....	29
地図の表示方法を変える.....	29
目的地を探してルート案内してみよう.....	30
ルート案内中画面の見かた.....	32
ルート案内中の主な機能.....	33
サイレントガイドについて.....	33
オートリルートについて.....	33
ルートアドバイザーについて.....	33
ルート案内中の主な操作.....	33
次の案内地を確認する(リクエスト案内).....	33
ルート上の渋滞情報を案内させる.....	34
ルートを消去する.....	34
ナビゲーションの機能設定をしてみよう... ..	35
機能設定の設定項目一覧.....	35

オーディオ

音楽や映像を楽しもう.....	38
AVソースを切り換える.....	38
AVソースについて.....	38
AVソースをOFFにする.....	38
AVソースを操作する.....	38
ソース別設定を行う.....	39
オーディオ設定をしてみよう.....	40
オーディオ設定の詳細設定項目一覧.....	40
再生できるファイルとメディアの種類.....	41
音声コーデックについて.....	41
対応音声コーデック一覧.....	41
映像コーデックについて.....	42
対応映像コーデック一覧.....	42
音声コーデックと 映像コーデックの組み合わせについて.....	42

困ったときは

故障かな?と思ったら.....	43
共通項目.....	43
オーディオ共通項目.....	44
FM/AM.....	44
SD/USB.....	44
iPod.....	45
Bluetooth Audio.....	45
Bluetooth.....	45
エラーメッセージと対処方法.....	46
共通項目.....	46
ナビゲーション.....	46
Bluetooth.....	46
SDカード.....	46
USB.....	47
iPod.....	47
Bluetooth Audio.....	47
SD/USB.....	47

本体リセットのしかた	48
取り扱い上のご注意	48
液晶画面の正しい使いかた	48
取り扱い上のご注意	48
液晶画面について	48
LEDバックライトについて	48
お手入れについて	48
SDカードに関するご注意	48
USB機器に関するご注意	48
本機との接続について	48
保管上のご注意	48
iPodに関するご注意	49
取り扱い上のご注意	49
著作権について	49
電波に関するご注意	49
保証書とアフターサービス	49
保証書について	49
アフターサービスについて	49
保証期間中の修理について	49
保証期間経過後の修理について	49
お問い合わせ先	49
仕様	50
VICS情報有料放送サービス契約約款	51
商標・著作権など	52
索引	57
五十音順	57
アルファベット順	58

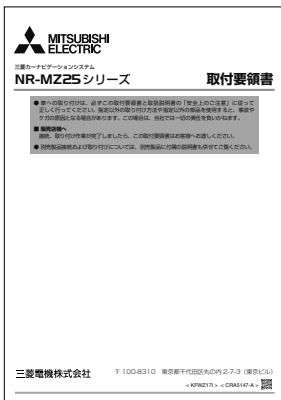
はじめに

本製品は、環境保護の観点から紙資源の使用量を見直し、いろいろな媒体を通して取り扱い情報を調べることができるようになっています。

お
使
い
に
な
る
前
に

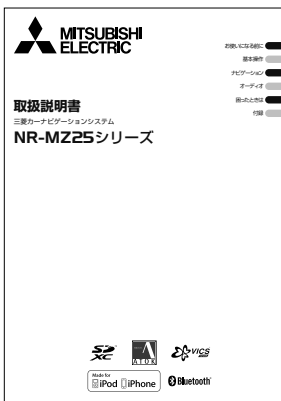
取付要領書

製品に同梱されている説明書です。取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



取扱説明書 (本書)


製品に同梱されている説明書です。本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機をご購入後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーション、オーディオなどの基本的な使いかたを説明しています。



ユーザーズガイド

本製品の機能を説明した詳細なマニュアルです。
お客様の利用シーンなどに合わせて、機能、操作手順やQ&Aなど知りたい情報を詳しく知ることができるマニュアルです。

弊社ホームページからPDFをダウンロードすることができます。
詳しくは弊社ホームページにてご確認ください。


	はじめに
基本操作	
ナビゲーション基本操作	
機能	
ルート	
登録・編集	
設定	
詳細・設定	
検索	
オーディオ基本操作	
放送局	
メモリーメディア	
iPodを使う	
Bluetooth Audioを使う	
FM/AMを使う	
音源の選択・編集	
その他の機能	
その他の機能	
困ったときは	
付録	

お
使
い
に
な
る
前
に

本書の見かた

お使いになる前に

本書の表記のしかた

表記	意味
!	注意マーク 操作上、注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
MENU	ナビゲーション本体のボタンを表します。 例：MENUを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」
長く押す / 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける / タッチし続ける	押し続ける（タッチしている）間だけ操作することを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

地図データについて

本機のご使用に当たっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、次の内容が工場出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

自車方位／画質調整／画面角度調整／オーディオ設定の内容／ラジオ／交通情報のプリセット内容／各AVソースの再生モード など

本機と接続可能な通信機器について

- 携帯電話を本機にBluetooth接続することで、電話機能やBluetooth Audio機能（Bluetooth Audio対応携帯電話の場合）などが使えます。ただし、携帯電話やiPhone／スマートフォンの機種によっては、それらに対応していない機種もありますので、ご注意ください。

SDカードについて

- 本機は、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードに対応しています。
- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマット

トをするとSD規格非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータがすべて消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアンジェーションの以下ホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/home.html>

- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任の元でフォーマット作業は実行してください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

お客様が保存されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録されたメモリダイアル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

設定の初期化について

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

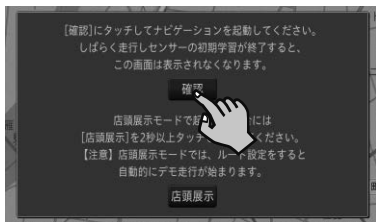
設定の初期化について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。）

初期学習について

センサー初期学習とは、センサーを利用可能にするために車や取付状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されますので、**確認**にタッチしてください。**店頭展示**にはタッチしないでください。タッチしてしまった

場合は、一度車のキーを抜いてから、エンジンをかけ直してください。

センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。）



その他

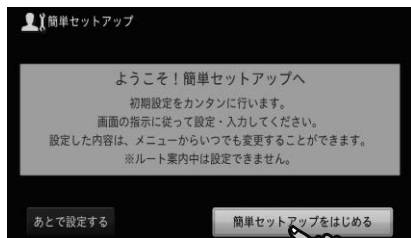
- 著作権で保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権を保護するための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニターに出力した場合には、再生する時も画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。
- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報を含れません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただいた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

簡単セットアップをしよう

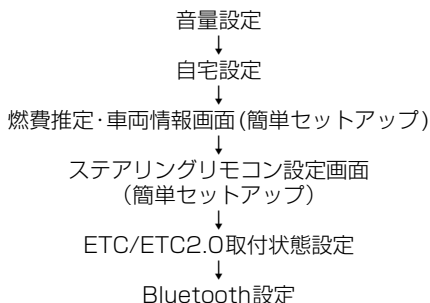
本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。

本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的に簡単セットアップが起動します。

1 簡単セットアップをはじめるにタッチする



以下の順に設定を行います。

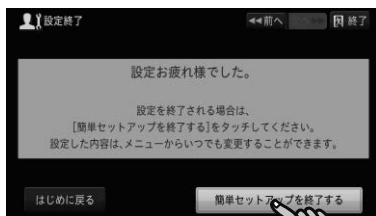


それぞれの画面の指示に従って設定してください。

メモ

- ルート案内中は、設定できません。
- あとで設定したい場合は、**あとで設定する**にタッチしてください。次回起動時も簡単セットアップが起動します。
- 簡単セットアップは、設定・編集メニュー(→P24)からも行えます。

2 簡単セットアップ終了画面まで進んだら、簡単セットアップを終了するにタッチする



簡単セットアップ画面の見かた

終了
簡単セットアップを終了します。

次へ▶▶
設定内容を保存し、次の画面を表示します。

◀◀前へ
設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



簡単セットアップ進捗バー
簡単セットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

連携アプリについて

NaviCon

NaviConは多彩な連携アプリで探した行先を、フンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon (iPhone版 / Android版) は無料でご利用いただけます。

インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト：

< <http://navicon.com/> >



メモ

- NaviConを使用するには、本機とiPhoneまたは、スマートフォン (Android™) をBluetooth接続する必要があります。(→P15)
- NaviConを使用するときは、iPodをUSB端子に接続しないでください。

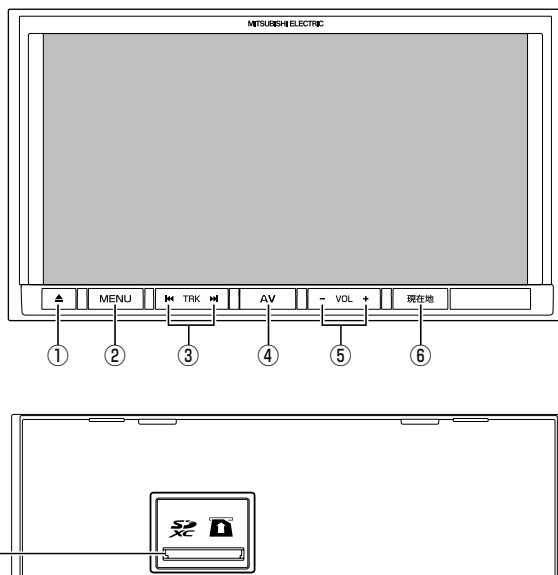
本機の基本操作を覚えよう

ナビゲーション本体、マイクの各部の名称と働きを説明します。

各部の名称と主な働きを覚えよう

■ナビゲーション

基本
操作



- ① **▲ボタン(→P16,17)**
SDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。
- ② **MENU ボタン(→P21)**
セントラルメニューを表示します。セントラルメニュー表示中は、NAVIメニューとAVメニューを切り換えます。
長く押しと画面の画質を調整します。
- ③ **◀▶ ボタン**
放送局の選択や再生する曲の選択をします。
長く押しと、曲の早戻しや早送りをします。
- ④ **AV ボタン**
AVソース画面時は、セントラルメニューを表示します。(長く押しとAVソースをOFFにしてセントラルメニューを表示します。)
ナビゲーション画面時は、AVソースがOFFの場合はセントラルメニューを表示し、AVソースがONの場合はAVソース画面を表示します。
- ⑤ **◻+ (音量調整) ボタン**
車のスピーカーから出力されるAVソースの音量を調整できます。
- ⑥ **現在地 ボタン**
ナビゲーションの現在地表示に切り換えます。
長く押しと画面を一時的に消し、待機状態にします(ナビスタンバイ)。
- ⑦ **SDカードスロット(→P16)**
SDカードを挿入します。

指のケガに注意

- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

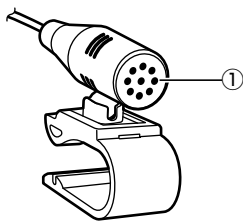
①注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの角度調整や開閉を無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。
- SDカードの出し入れの際、モニターを完全に開いた状態のままにしておく、一定の間隔で音声警告が行われます。表示部保護のため、必要な場合以外モニターは閉じた状態でご使用ください。

🔍メモ

- ナビスタンバイ中の画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。
- ナビゲーションの案内音声、操作音、電話の受話音および着信音の調整は、「ナビゲーションの音量を調整してみよう」(→P18)で行います。

■ハンズフリー通話用マイク(別売)



① 集音部

本機に携帯電話をBluetooth 接続して、ハンズフリー通話を行う場合は、別売のハンズフリー用マイク「LE-20HM」が必要です。

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると切れます。

①注意

- 本機は、エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にするとモニターが自動的に閉じます。ただし、モニターが完全に開いた状態でエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にしても、自動的にモニターが閉じることはありません。故障ではありません。

🔍メモ

- ナビゲーションの電源スイッチはありません。

自宅を登録しよう

あらかじめ自宅の場所を登録しておく、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、かんたんな操作でルートを探索できます。

1 自宅に車を停める

2 **MENU** を押し、他の検索 - 自宅にタッチする

3 はい にタッチする



自宅が登録されます。

🔍メモ

- 簡単セットアップ(→P12)でも登録できます。
- 引っ越しなどの理由で自宅を再登録したい場合は、登録済みの自宅を削除してから操作してください。→「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
- 地図画面上で自車マーク▲が自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→P28の「地図を動かす」
- 登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。

携帯電話を登録しよう

ハンズフリー通話やBluetooth Audio機能をご利用になるには、あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。操作を行う前に、携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

🔍メモ

- 携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(→P10)をご覧ください。

1 **MENU** を押し、設定・編集 - システム設定 - Bluetooth設定にタッチする

2 機器登録にタッチする



周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

メモ

- 検索は約20秒間行われます。検索を開始して20秒経過後にBluetooth機能をONにした機器などがある場合は、**再検索**にタッチすると検索し直します。
- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから登録してください。

3 登録するBluetooth機器にタッチする



4 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う

メモ

- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録(機器登録・機器認証)する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、メモリダイヤル読み込み*、Bluetooth Audio、NaviConに対応しています。
※お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

登録完了のメッセージが表示されます。

SDカードの入れかた・取り外しかた

①注意

- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。

SDカードの入れかた

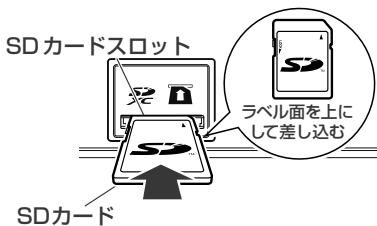
1 電源を押す

2 SDカード挿入にタッチする



モニターが開きます。

3 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込む



4 電源を押す

モニターが閉じます。

①注意

- SDカードが完全に挿入されていない状態で電源を押さないでください。カードを破損させる恐れがあります(SDカードの挿入位置が正しくないと電源を押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます)。

SDカードの取り外しかた

- 1 **⏻**を押す
- 2 **SDカード取り外し**にタッチする



モニターが開きます。

⚠注意

- SDカードを取り外す場合は、必ず**SDカード取り外し**にタッチしてから行ってください。タッチせずに取り外すと、SDカード内のデータが破損する恐れがあります。

- 3 “カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで離す



SDカードが押し出されます。



- 4 SDカードをまっすぐ引き抜き、**⏻**を押す

モニターが閉じます。

⚠注意

- SDカードは中央部をゆっくりと押して、まっすぐ取り出してください。
- 取り外したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様や飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

画面を見やすく調整してみよう

メモ

- 液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整してください。液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

モニターの角度を調整する

- 1 **⏻**を押す
- 2 **+**または**-**にタッチする



タッチすることにより、モニターの角度が変わります。

メモ

- 角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

画質を調整する

- 1 **MENU**を長く押す
- 2 調整したい項目にタッチする



地図画面とAVソース画面を同時に表示してみよう

画面を2分割して、地図画面とAVソース画面を同時に表示させることができます。

1 現在地図画面で、**ビュー**にタッチする



2 **AVサイドビュー**にタッチする



2画面表示に切り換わります。



ナビゲーションの音量を調整してみよう

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** にタッチする
- 2 **案内・ハンズフリー音量設定** にタッチする
- 3 調整したい項目の **+/-** または **ON/OFF** にタッチする



メモ

- 簡単セットアップ(→P12)でも調整できます。
- 操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- 調整・補正メニュー(→P24)の「音量/消音設定」では、より詳しい設定ができます。
- オーディオの音量調整については、P14をご覧ください。

注意

- 操作音をOFFに設定すると、警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

カスタムキーの操作を覚えよう

普段よく使う機能を、画面下部に表示される**カスタム**に登録できます。工場出荷時は「地点を登録する」です。

カスタム機能を設定する

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集** - **システム設定** - **カスタム設定** にタッチする
- 2 登録したい機能を選ぶ



カスタム機能を使う

1 現在地画面で、**カスタム**にタッチする



登録した機能（例：ログマークをON/OFFする）が動作します。



メモ

- 以下の機能は、地図画面またはAVソース画面のどちらでも動作します。
 - 周辺施設を探す
 - 目的地ランキングから探す
 - 自宅へ帰る
 - アイドリングアッテネーター設定ON/OFFする
 - アッテネーターをON/OFFする
 - 全画面に時計を表示する
- その他の機能は、地図画面でのみ動作します。

現在地を登録してみよう

旅先など景色のきれいで覚えておきたい場所を登録しておくと、目的地を設定する際などに利用できます。

1 登録したい場所に車を停める

2 現在地画面で、**カスタム**にタッチする



場所が登録されます。

メモ

- 現在地の住所付近の名称で登録されます。
- カスタムキーに「地点を登録する」を設定してください。（工場出荷時の設定は「地点を登録する」です。）
- カスタムキーに他の機能が設定されていると、手順2の操作はできません。

登録した場所を編集してみよう

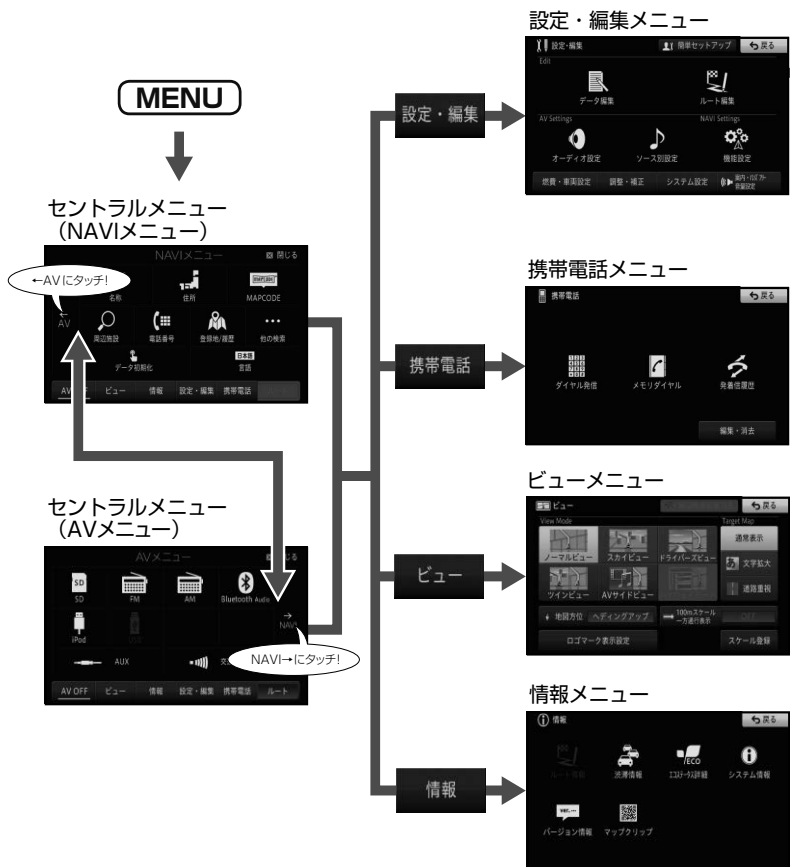
以下の情報を編集することができます。

詳しくは、ユーザーズガイド「登録した場所の編集」を参照してください。（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP9をご覧ください。）

- ・名前
- ・方向指定
- ・ヨミ
- ・グループ
- ・電話番号
- ・位置修正
- ・2Dマーク
- ・効果音
- ・3Dマーク

メニューの操作を覚えよう

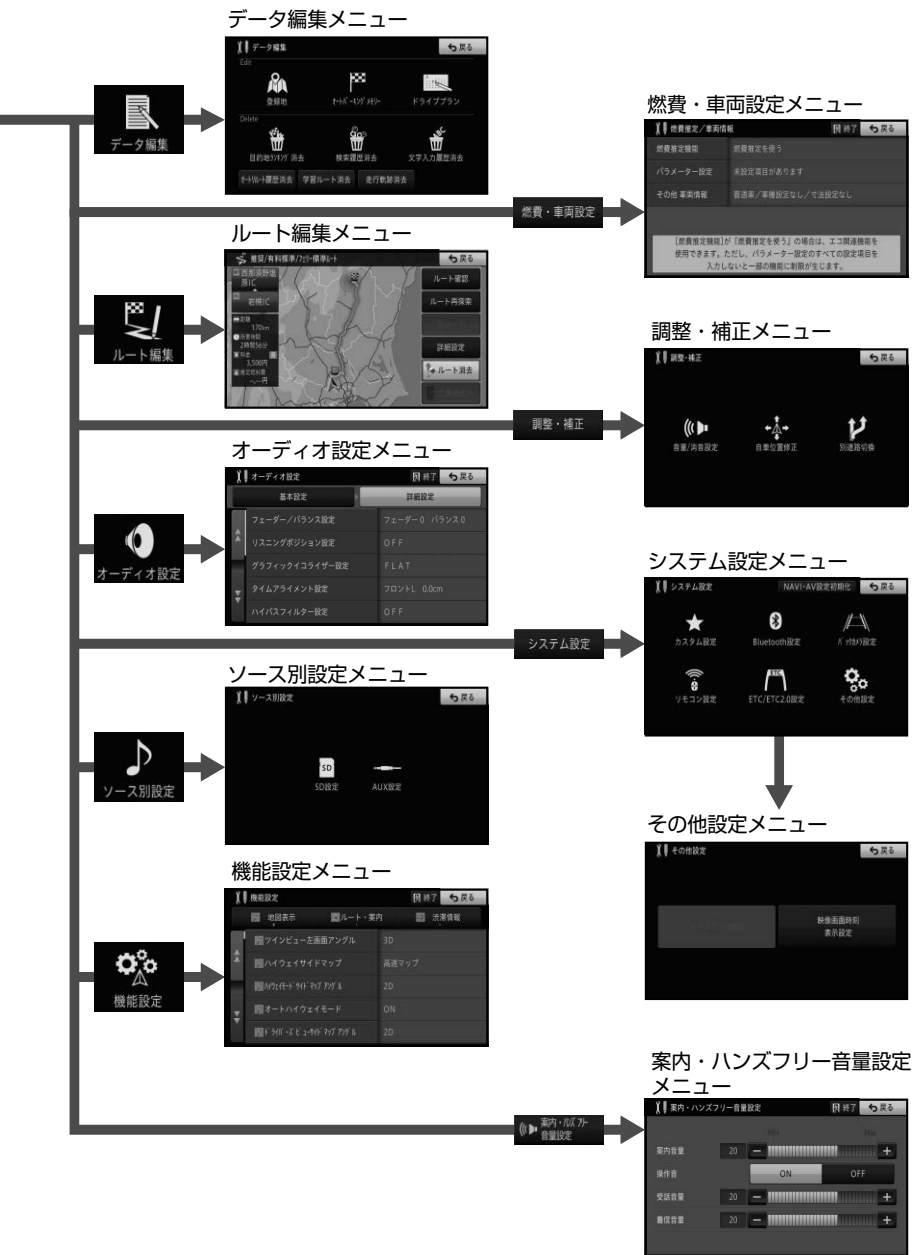
本機では、用途に応じていろいろなメニュー画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。



ショートカットメニュー



地図をスクロールまたは場所を探したときに表示されます。



セントラルメニュー

セントラルメニューには、いろいろな機能が集められています。



NAVI→	行き先を探してルートを探索したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。
←AV	FMやiPodなどのオーディオ機能が利用できます。
AV OFF	オーディオ機能の利用を中止することができます。
ビュー	地図の表示方法変更や強調させたい情報の設定、地図の向きや各種表示に関する設定ができます。
情報	ルート情報や渋滞情報、バージョン情報など各種情報を確認・利用できます。
設定・編集	各種データやルートの編集、オーディオ関連の設定やナビゲーション関連の設定などができます。
携帯電話	発信操作や発着信の履歴操作、メモリダイヤルの読み込み・利用、各種編集・消去などができます。
ルート*	ルート再探索や別ルートの探索、ルート消去などルートに関する操作ができます。

※：案内中ルートがある場合

■ NAVIメニュー

NAVIメニューには、場所を探すメニューが集められています。



名称	行き先のヨミ仮名を入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込みます。
住所	行き先の住所を入力して検索します。
MAPCODE	最大12ケタの数字と*（アスタリスク）でコード化された特定の場所の位置データ（マップコード）を入力して検索します。

周辺施設	自転車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。	
電話番号	行き先の電話番号を入力して検索します。	
登録地/履歴*	登録した場所や今までに検索した場所の履歴から検索します。検索履歴の場合、日付順や自転車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで絞り込みます。	
他の検索	ジャンル	行き先のジャンルを選んで検索します。
	緯度経度	緯度経度を入力して検索します。
	目的地 ランキング*	よく行く行き先のランキングを表示します。
	自宅	自転車位置やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索ができます。
データ初期化	設定内容の一部を初期化できます。	
言語	音声案内、メニュー、メッセージ、地図の表記言語を日本語／英語／中国語／韓国語の中から選んで切り換えます。地図の表記言語については、中国語／韓国語を選択した場合でも英語への切り換えとなります。	

※1：登録地点や検索履歴がある場合

※2：ランキング情報がある場合

■ AVメニュー

AVメニューには、オーディオに関するメニューが集められています。



SD*	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
FM/AM	ラジオが聞けます。
Bluetooth Audio*	接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。

iPod ※3	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のiPod用USB変換ケーブル(30ピンコネクタ用)「KIT-007IP」またはiPod用USB変換ケーブル(Lightningコネクタ用)「LE-007LN-05FM」が必要です。
USB ※4	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。
AUX ※5	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
交通情報	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

- ※1: SDカードが挿入されている場合
- ※2: Bluetooth Audio機器が接続されている場合
- ※3: iPodが接続されている場合
- ※4: USBが接続されている場合
- ※5: ソース別設定(→P39)でAUX設定の入力設定をONにした場合

■ビューメニュー

ビューメニューには、地図の表示に関するメニューが集められています。



ノーマルビュー	平面で表示できます。
スカイビュー	上空から見ているように表示できます。
ドライバーズビュー	ドライバーの目線で見ているように表示できます。
ツインビュー	左右に2分割して異なる方法で表示できます。
AVサイドビュー	地図画面とAV画面を同時に表示できます。
ハイウェイモード ※	有料道路専用画面で表示できます。
通常表示	工場出荷時の状態(情報)で表示できます。
文字拡大	地図上の文字情報のみを拡大表示できます。
道路重視	地図上の道路情報のみを強調表示できます。
地図方位	地図の向きが、車の進行方向を常に上(ヘディングアップ)とするか、北を常に上(ノースアップ)とするか設定できます。

100mスケール一方通行表示	100 mスケールで地図を表示しているときに、地図上に一方通行のマークを表示するかしないか設定できます。
ロゴマーク表示設定	施設のロゴマーク(ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど)を表示するかしないか設定できます。
スケール登録	現在の地図スケールを登録することができます。
周辺検索結果消去	周辺検索を行った際、検索結果として地図上に表示される施設のロゴマークを消去できます。

※: 有料道路走行中の場合

■情報メニュー

情報メニューには、ルートや渋滞、エコステータス、システムなどのメニューが集められています。



ルート情報 ※1	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
渋滞情報	文字や図形のVICS情報を確認できます。
エコステータス詳細	エコステータスの内容をグラフや指数などで、詳しく確認できます。
システム情報	センサー学習の状況や各機器の取付け状態、SDカードの空き領域の情報を確認できます。
バージョン情報	収録データのバージョンを確認できます。
マップクリップ	表示中の地図情報を2次元バーコード(QRコード)に変換できます。
ETC利用履歴 ※2	ETCカードに記録された利用履歴を確認できます。

- ※1: 案内中ルートがある場合
- ※2: ETCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合

■設定・編集メニュー

設定・編集メニューには、設定または編集に関するメニューが集められています。



簡単セットアップ	簡単セットアップができます。
データ編集	登録地や駐車場履歴データ、ドライブプランの編集ができます。また、目的地ランキングや検索履歴、文字入力履歴、オートルート履歴、学習ルート、走行軌跡の消去ができます。
ルート編集 ^{※1}	ルートの確認や消去、詳細設定などができます。
オーディオ設定 ^{※2}	オーディオの音質を調整できます。
ソース別設定	SDやAUX、各オーディオ機能特有の設定ができます。
機能設定	地図表示やルート、渋滞情報などナビゲーションに関する設定ができます。
燃費・車両設定	燃費推定機能の使用有無やパラメータ（燃料単価や排気量など）の設定、車両情報の入力ができます。
調整・補正	ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFF、消音タイミングと消音レベルの設定、ガイド音声出力時のスピーカー選択などができます。また、自車位置がずれた場合の修正や、走行している道路の認識が間違った場合の切り換えもできます。
システム設定	Bluetooth設定や各種オプション品（バックカメラ、ETC/ETC2.0）の設定などができます。また、設定の初期化もできます。
案内・ハンズフリー音量設定	ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFFを設定できます。

※1：案内中ルートがある場合

※2：AV機能利用中の場合

■携帯電話メニュー

携帯電話メニューには、携帯電話機能に関するメニューが集められています。




ダイヤル発信	ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、発信できます。
メモリダイヤル	接続中の携帯電話から読み込んだメモリダイヤルをリスト表示し、選んだ相手に発信できます。
発信履歴	本機と接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。
編集・消去	メモリダイヤルの読み込みや消去、発信履歴の消去ができます。

ショートカットメニューの操作

場所を探した際に、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして表示されます。

- 1 地図をスクロールするか場所を探す
- 2 実行したい機能を選んでタッチする



周辺施設を探す	探した場所の周辺の施設を検索することができます。
マップクリップ	表示中の地図情報を2次元バーコード（QRコード）に変換できます。
ここを登録する	探した場所を登録できます。
ここへ行く	探した場所までのルート探索ができます。
	ショートカットメニューを表示・非表示することができます。

選んだショートカットメニューが実行されます。

メモ


- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、**戻る**にタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、**(現在地)**を押します。

リスト画面の操作を覚えよう

機能に応じていろいろなリスト画面が表示されま
す。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

基本的なリストの操作

タブ
それぞれのタブに分類された
リストの先頭行を表示します。



リスト項目
目的の項目を選んでタッチし
ます。


リストバー
リスト項目量の目安とリストの現
在位置を示します。

ページ送りタッチキー
タッチするとリストをページ送りし
ます。

その他のリスト操作

50音タブ付きリストの操作

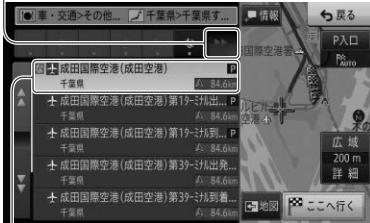
サイドマップなし



50音タブ
選んだタブの先頭からリスト表示
します。
同じタブに繰り返しタッチすると、
音送りでリスト表示します。
(あ→い→う→え→お)


サイドマップあり

タブ送り
サイドマップが表示されている
場合は、50音タブが省略表示さ
れます。タッチすることによって隠れ
ている50音タブを表示します。




選択中の項目
選択中の項目は、リストの色が変
わります。
検索結果のリストなどでは、あら
かじめリスト最上段の項目が選択
状態となります。

ポップアップメニューの操作



ポップアップメニュー
選んだ項目に選択肢がある
場合に表示されます。

並べ替えの操作



並び替え
タッチすることにより、ヨミ順や近い
順などのようにリスト表示を並べ
替えます。
並び替えの種類は、表示している
画面によって異なります。

■チェックタイプリストの操作



チェックマーク

タッチするとチェックマークが表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチするとチェックマークが消え、選択が解除されます。

■インジケータ付きリストの操作



インジケータ

タッチするとインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度タッチするとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地画面の見かた

現在の時刻 17:54

方位表示 赤い三角が北方向を示します。

スケール表示 下の「100m」がスケールの距離を示します (2D表示のみ)。

情報ウィンドウ表示 情報ウィンドウ表示の内容は、機能設定 (→P26) で市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV情報、エコステータスの5種類に切り換えることができます。VICS WIDE 緊急情報を受信した時は切り換えることはできません。

自車マーク 車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示

各種アイコン表示

渋滞情報提供時刻表示

ナビゲーシオン

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り換えを車のスマート灯のON/OFFと連動させたり、常に昼画面を表示させておくこともできます。本書では、昼画面を例に説明しています。

画面下部に表示されるアイコンについて

本機の設定や機器の接続状況に応じて、各種アイコンが表示されます。

アイコン例	表示条件
	サイレントガイドでルート案内中に表示されます。
	本機に挿入されたSDカードを認識すると表示されます。
	地図データ等の更新時に表示されます。更新中は、進捗状況が%で表示されます。更新マークが表示されているときは、SDカードを抜かないでください。

	Bluetooth機器接続中は青色で表示され、未接続は灰色で表示されます。電波発射がOFFに設定されている場合および音声案内がOFFの場合は表示されません。
	接続した別売のETCユニットやETC2.0対応ユニットにETCカードが挿入されると表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。
	Bluetooth機器がハンズフリー接続されると表示され、基地局とBluetooth機器間の電波強度を示します。
	音声案内をOFFにすると表示されます。

メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1種類しか表示されないものもあります。

地図を動かす

地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチすると地図が動きます。この動作をスクロールといいます。

1 地図上の見たい場所にタッチする



スクロール方面表示
地図のスケールが、10 m ~ 1 km
スケールのときに表示されます。

十字カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

地図上ではフリック／ドラッグ操作ができます。

フリック操作



画面を指で払うようにすると、指を払った方向に地図が移動します。(フリックスクロール)

ドラッグ操作



画面にタッチしたまま指を動かすと、指の動きに従って地図が動きます。(ドラッグスクロール)

メモ

- ・ノーマルビューの場合は**微調整**が表示されます。
- ・タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロール速度が速くなります。
- ・走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。

2 微調整にタッチする

現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結んだ線。



十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名
を示します。

現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

3 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



メモ

- ・もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- ・走行中は微調整の操作はできません。
- ・**現在地**を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

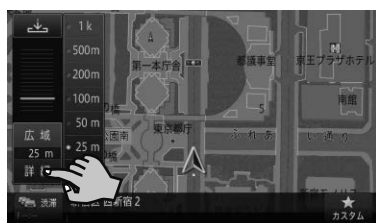
地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変更できます。

1 現在地画面で、**広域**または**詳細**にタッチする



ダイレクト
スケールキー ↑↓



広域	地図をより広く見たいとき
詳細	地図をより詳しく見たいとき

ダイレクトスケールキーから直接スケールを選ぶこともできます。

メモ

- **上** にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 停車中のみ、**広域** / **詳細** にタッチし続けることで、スケールを段階的に変更することができます（フリーズム）。

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図の向きを変更できません。地図の向きに関して詳しくは、P23の「ビューメニュー」をご覧ください。

1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



2 地図方位にタッチする



ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

地図の表示方法を変える

地図の表示方法（ビューモード）や強調させたい地図の情報（ターゲットマップ）を、お好みに合わせて変更できます。ビューモードやターゲットマップに関して詳しくは、P23の「ビューメニュー」をご覧ください。

1 現在地画面で、**ビュー**にタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



選んだビューモードやターゲットマップで表示されます。

目的地を探してルート案内してみよう

NAVIメニューで目的地を探してルート案内してみましょう。

本書では例として「ジャンル」から「成田国際空港」を探して目的地とする方法を説明します。その他の検索方法について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。）

1 MENU を押し、他の検索ジャンルにタッチする

メモ

- AVメニューが表示されているときは、NAVI→にタッチしてください。

2 車・交通にタッチする



3 車・交通のメニューで「その他」にタッチする



4 空港一都道府県を指定して探すにタッチする



メモ

- ▲付近で探すにタッチすると、現在地付近の空港を探します。

5 た一千葉県にタッチする



6 千葉県すべてにタッチする

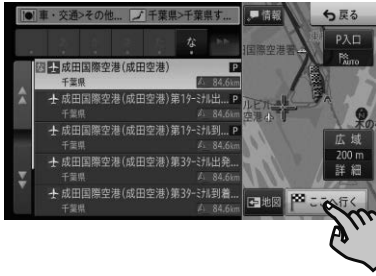


検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

メモ

- 目的の施設がある市区町村までわかっている場合は指定してください。検索結果を絞り込めます。

7 ここへ行くにタッチする



メモ

- 目的の施設が選択されていないときは、リストから選んで**ここへ行く**にタッチします。
- もう一度**成田国際空港 (成田空港)**にタッチするか、**地図**にタッチすると、画面全体が地図画面に切り換わります。選んだ施設にはカーソルが表示され、施設名称が画面下部に表示されます(アクティブインフォ)。
- **情報**にタッチすると、選んだ施設の詳細情報を確認できます。
- 詳細情報に電話番号がある場合は、その電話番号へ発信できます(携帯電話が接続されている場合に限り)。
- 詳細情報に施設の候補が複数ある場合は、**前の施設**や**次の施設**にタッチして詳細情報の切り換えができます。

①注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適になるとは限りません。
- 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によりルート探索できないことがあります。

メモ

- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

8 案内開始にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)。




ルート案内中画面の見かた

到着予想時刻表示

目的地または立寄地までの進捗度が表示されます。タッチすると、表示内容が切り換わります。

- ① 8:06
a. 13.5 : 目的地の到着予想時刻と残りの距離
- ② 8:23
a. 28.7 : 立寄地の到着予想時刻と残りの距離
(立寄地を指定した場合)
- ③ 07:21
7min : 出発時刻と経過時間

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。矢印(例: )にタッチすることにより、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。(→P35)



レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色(推奨レーンは黒矢印)で表示されます。

方面看板表示

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線で表示されます。到着予想時刻表示を②にしている場合は、現在地と立寄地を結ぶ直線となります。

ルート

設定したルートは、一般道は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面

交差点案内表示画面

交差点に近づくとき交差点案内画面に変わります。

ドライバースビュー (工場出荷時の設定)



サイドマップ

機能設定(→P26)の「ドライバースビューサイドマップアングル」で、2Dまたは3Dを選択できます。

メモ

- 交差点案内表示は、機能設定(→P24)で「ドライバースビュー」「拡大図」「アローガイド」の3種類から選べます。

ルート案内中の主な機能

■サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。

自宅周辺など道がよくわかってる付近の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートはわかっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合などに便利です。

機能設定（→P24）の「オートサイレントガイド」をONに設定すると、自動的にサイレントガイドでルート案内を開始します。

メモ

- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2Dか3Dを選べます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やオートリルート、駐車場マップの表示は行われます。
- サイレントガイド中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）

■オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

■ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



新ルート	新ルートで案内します。
元ルート	元ルートで案内します。

ルート案内中の主な操作

■次の案内地を確認する（リクエスト案内）

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地を音声案内と地図表示で案内します。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



メモ

- 本操作を繰り返すごとに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。
- 交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチしても確認できます。
- 画面の表示状態によって、タッチ操作の回数が増える場合があります。

■ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICISの渋滞・規制情報は自動的に音声で案内されます(渋滞オートガイド)。

メモ

- VICIS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”などと案内されます。

手動操作でもルート上の渋滞情報を確認できます(渋滞チェック)。

1 現在地画面で、**渋滞**にタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



メモ

- 本操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞状況まで順に案内できます。
- 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

■ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

1 **MENU**を押し、**ルート**→**消去**にタッチする

ルート消去確認メッセージが表示されます。消去する場合は**はい**にタッチしてください。**いいえ**にタッチすると消去を中止してルート案内を続行します。

メモ

- 情報メニュー(→P23)の**ルート情報**、または設定・編集メニュー(→P24)の**ルート編集**から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

ナビゲーションの機能設定をしてみよう

用途や好みの応じて設定を変更すると、ナビゲーションが使いやすくなります。

1 **(MENU)** を押し、**設定・編集** 機能設定にタッチする



ナビゲーション

機能設定の設定項目一覧

	設定項目	工場出荷時
地図表示	ツインビュー左画面アングル ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。	3D
	ハイウェイサイドマップ ハイウェイモードで都市高速を走行するときのサイドマップを設定します。	高速マップ
	ハイウェイモードサイドマップアングル ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	オートハイウェイモード 有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。	ON
	ドライバーズビューサイドマップアングル ドライバーズビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	AVサイドビューアングル AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D
	サイレントガイドアングル サイレントガイドのアングルを設定します。	2D
	シティマップ シティマップ対象エリア内で50 m以下のスケールで表示した場合、シティマップを表示するかを設定します。	ON
	スカイシティマップ シティマップをスカイビューで表示した場合に建物などを立体的に表示するかを設定します。	ON
	シティマップ境界表示 シティマップ対象エリアから外れるときに境界線を表示するかを設定します。	OFF
	地図色切換 地図色が切り換わるタイミングを設定します。	時刻連動
	走行軌跡表示 走行軌跡を地図上に表示するかを設定します。	ON
	ロゴマーク表示スケール ロゴマークや周辺検索の結果を表示するスケールを設定します。	1 kmスケール以下
	登録地マーク簡易表示 登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。	簡易表示しない
	ボトルネック踏切マーク表示 ボトルネック踏切マークを地図上に表示するか設定します。	ON
	一時停止表示 一時停止マークを地図上に表示するか設定します。また、効果音による通知も設定します。	ON (音あり)
	冠水注意地点マーク表示 冠水注意地点マークを地図上に表示するかを設定します。	ON

地図表示	ゾーン30エリア表示 ゾーン30エリアを地図上に表示するかを設定します。	OFF
	2D（ノーマルビュー）固定スクロール スクロール画面をノーマルビューに固定するかを設定します。	OFF
	情報ウィンドウ表示 地図画面に表示する情報ウィンドウの内容を設定します。	市区町村名
ルート案内	ルート探索基準 ルート探索の基準をあらかじめ設定できます。	推奨
	有料道路使用条件 ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	フェリー航路使用条件 ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準
	学習ルート探索 学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。	ON
	渋滞考慮ルート探索 渋滞情報を取得済みの場合は、その情報を考慮してルートを探索できます。	渋滞情報・渋滞予測
	時間規制考慮ルート探索 日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。	ON
	スマートIC考慮ルート探索 スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。 ルート案内中は設定できません。	OFF
	ルートアドバイザー 新しい候補ルートを提供する際、どの情報を考慮するかを設定します。	すべて考慮
	ルートアドバイザー自動決定ルート ルートアドバイザーによる新ルートと元ルートの選択画面でタッチ操作が行われない場合に選択する、規定のルート候補を設定できます。	元ルート
	到着予想時刻表示 ルート案内時に表示する情報を設定します。	目的地(到着時刻・残距離)
	到着予想時刻速度(一般道) 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	30 km/h
	到着予想時刻速度(有料道) 渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」にした際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	80 km/h
	交差点案内表示 一般道のルート案内時に、交差点などの案内地点に近づいたときに表示される案内図の種類を選択します。	ドライバーズビュー
	方面案内表示 一般道走行時に方面案内看板を表示するかを設定します。	ON
	ETCレーン案内表示 有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。	ON
	料金案内 ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。	ON
	オートフリーズーム オートフリーズーム（現在地と直近の案内地との距離に合わせて地図スケールを自動的に変更する機能）のスケール範囲の設定をします。	OFF
	オートアングルチェンジ 案内地点でのドライバーズビューの視点変更を行うかを設定します。	ON
	リクエスト案内 リクエスト案内時の案内方法を設定します。	音声案内・地図表示
	信号機ジャスト案内 信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。	ON

一般道シンプルガイド 通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。	OFF	
オートサイレントガイド ルート案内の開始時に、自動的にサイレントガイドで案内を行うかを設定します。	OFF	
AV画面への割り込み AV画面を表示中に割り込み表示させる内容(交差点案内表示、ルートアドバイザーの情報)を設定します。	すべてON	
有料道注意地点・県境案内 有料道走行時に注意地点と県境を音声で案内するか設定します。	ON	
踏切案内 前方に踏切がある場合に音声で案内をするか設定します。	ON	
右左折専用レーン案内 前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするか設定します。	ON	
リフレッシュ案内 2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。	ON	
ライト点灯案内 日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。	ON	
エコ運転評価案内 ルート案内後にエコ運転評価案内をするか設定します。	ON	
オートパーキングメモリー オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索を行うかを設定します。	ON	
ビーコン即時表示 受信したビーコン情報(ITSスポットの5.8 GHzVICS情報)から、即時に表示する情報の種類を設定します。	文字・図形・音声	
ビーコン即時表示時間 ビーコン即時表示を画面上に表示させておく時間を設定します。	10秒	
渋滞オートガイド ルート上に発生した渋滞情報を自動で音声案内するかを設定します。	ON	
渋滞情報表示	渋滞情報表示対象道路 渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。	有料道・一般道
	渋滞情報表示 渋滞情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。	ON
	順調表示 渋滞していない道路情報を地図上に道塗り表示するかを設定します。	OFF
	点滅表示 渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかの設定をします。	ON
	規制表示 規制情報と規制区間を地図上に表示するかを設定します。	ON
	駐車場情報マーク表示 駐車場や臨時駐車場の満空情報マーク、充電スポットの情報マークを地図上に表示するかを設定します。	ON
	区間旅行時間表示 区間旅行時間マークを地図上に表示するかを設定します。	ON

メモ

- 本機に表示される一時停止マークやゾーン30エリアは実際の交通規則や道路標識と異なる場合があります。その場合は、必ず、実際の交通規則や道路標識に従って走行してください。
- 収録されている冠水注意地点は、実際に冠水する可能性のある全ての地点を保証するものではありません。

音楽や映像を楽しもう

FMやiPodなどの音源や映像のことをAVソースといいます。

AVソースを切り換える

- 1 **MENU** を押し、**←AV** にタッチする
- 2 AVソースを選んでタッチする



選んだAVソースの画面(AVソース画面)に切り換わります。

■ AVソースについて

SD *	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。
FM/AM	ラジオが聞けます。
Bluetooth Audio	接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。
iPod *	接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のiPod用USB変換ケーブル(30ピンコネクタ用)「KIT-0071P」またはiPod用USB変換ケーブル(Lightningコネクタ用)「LE-007LN-05FM」が必要です。
USB *	USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。
AUX *	接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。
交通情報	幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

※：接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースは選択できません。

AVソースをOFFにする

- 1 **MENU** を押し、**AV OFF** にタッチする

AVソースがOFFになります。

メモ

- **AV** を長く押し、AVソースをOFFにすることもできます。

AVソースを操作する

基本的なAVソースの操作方法について、SDカードに保存した音楽ファイルを例に説明します。

メモ

- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。詳しくは、「ユーザーズガイド」をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
- あらかじめ再生したい音楽ファイルを保存したSDカードを挿入してください。(→P16)

- 1 **MENU** を押し、**←AV-SD** にタッチする

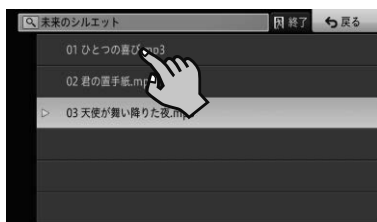
通常再生画面



タイムバー

リスト	リスト画面を表示します。
リピート 、 ランダム	タッチすることにより、特殊再生を行います。
▶/ 	再生中は一時停止し、一時停止中は再生を再開します。
◀◀/▶▶	早戻し/早送りをを行います。
タイムバー	再生時間と経過時間を表示します。

リスト画面



リスト項目	タッチした曲を再生します。
-------	---------------

ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うメニューです。

- 1 **MENU** を押し、**設定・編集**—
ソース別設定 にタッチする
- 2 設定したい機能を選んでタッチする



SD設定	映像ファイルの出力設定など ができます
AUX設定	外部機器の入力設定が できます。

オーディオ設定をしてみよう

再生中の音源に合わせて設定を変更したり、音質をお好みに合わせて調整できます。

1 **MENU** を押し、**設定・編集**— オーディオ設定にタッチする



基本設定では、以下の項目を選択することで、あらかじめセットされたグラフィックイコライザー、音場設定、フェーダー、ラウドネス、HPF、バスブースターの項目が一括で設定されます。工場出荷時は「フラット(初期状態)」です。

- 低音重視
- ボーカル重視
- 前席重視
- 後席重視
- フラット(初期状態)



詳細設定では、項目別に設定することができます。

オーディオ設定の詳細設定項目一覧

設定項目	工場出荷時
フェーダー/バランス設定 前後左右の音量バランスを調整できます。	0 / 0
リスニングポジション設定 乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。	OFF
グラフィックイコライザー設定 あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調整した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブが選べます。	FLAT
タイムアライメント設定 各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。	0 cm
ハイパスフィルター設定 選択した周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。	OFF
サブウーファー設定 サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。	ON
スピーカー出力設定 各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。	±0
ソースレベルアジャスター設定 AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。	±0
音場設定(VSC) お好みの音場をリアルに再現できます。	OFF
バスブースター設定 スピーカーやサブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。	0
ラウドネス設定 小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にできます。	OFF
アイドリングアッテネーター設定 アイドリングストップ車の車両状態と連動するように、A/Vソースのボリュームを調整することができます。	OFF

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

	コーデック	拡張子	対応メディア	
			 USBメモリー	 SDカード
音楽ファイル	WMA	.wma	○	○
	MP3	.mp3	○	○
	AAC	.m4a	○	○
	WAV	.wav	○	○
映像ファイル	MPEG-4	.avi	—	○
		.mp4/.m4v	—	○
	H.264	.mp4/.m4v	—	○
	WMV	.wmv	—	○
最大フォルダー数			300	
最大ファイル数			5 000	

○：対応 —：非対応

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けしないでください。
- DRM (デジタル著作権管理) 付きのファイルの再生には対応しておりません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下の通りです。

■対応音声コーデック一覧

	WMA	MP3	AAC	WAV
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz	MPEG1: 32 kHz ~ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ~ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 12 kHz	8 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: 48 kbps ~ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ~ 98 kbps	MPEG1: 32 kbps ~ 320 kbps MPEG2: 8 kbps ~ 160 kbps MPEG2.5: 8 kbps ~ 160 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	—
量子化ビット数	16	16	16	16

メモ

- エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver. 7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice
- ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン (v1, v2) のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- 本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下の通りです。

■対応映像コーデック一覧

	MPEG-4 Video	H.264 /AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度(ピクセル) @最大フレームレート	720×480@30 fps	720×480@30 fps	720×480@30 fps
最大ビットレート(平均 値/ピーク値) ^{*1}	4 Mbps/8 Mbps	2.5 Mbps/4 Mbps	768 kbps/-

※1：映像コンテンツ全体の平均ビットレートが最大ビットレート(平均値)を超えていなくても、瞬間的なビットレートが最大ビットレート(平均値)を連続的に超えると、正常に再生できない場合があります。

◆メモ

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下の通りです。

		映像ファイルフォーマット		
		AVI (.avi)	MP4 (.mp4/.m4v)	ASF (.wmv)
音声コーデック	None	○	○	○
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—
	LPCM	○	—	—
映像コーデック	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○

○：対応 —：非対応

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときはP49の「保証書とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目		
症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンがかかっていない。	エンジンまたはACCをONにしてください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒「取付要領書」
起動に時間がかかるときがある。	周囲の温度が極度に低いまたは高い。	本機には、使用温度範囲(→P50)があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
	本機がシステムの最適化を行っている。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。
画面に何も表示されない。	ナビスタンバイ状態になっている。	画面にタッチして、ナビスタンバイを解除してください。
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	周囲の温度が極端に低い。	周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。	本書や取付要領書またはユーザズガイドで設定や接続状態を確認してください。(ユーザズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
自車位置を測位できない。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取付付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
測位誤差が大きい。	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。⇒「ユーザズガイド」「誤差について」(ユーザズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
自車位置が正しくない。	自車位置がずれている。	GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。⇒「ユーザズガイド」「誤差について」(ユーザズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
	車速パルスが正しく入力されていない。	取付け状態画面で、接続を確認してください。⇒「取付要領書」
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	〔 現在地 〕を押して、現在地画面にしてください。
地図の向きが変わらない(自車マークが上でない方向に向かう)。	地図の向きがノースアップになっている。	地図の向きをヘディングアップに変更してください。→P29の「地図の向きを変える」
ナビゲーションの案内音声がでない。	ナビゲーションの音量設定が0になっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。→P18の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」

困ったときは

症状	原因	処置
地図上にVICS情報が表示されない。	受信したVICS情報が表示されるまで数分かかることがある。	表示されるまで、お待ちください。
	VICSの受信感度が良くない。	放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
SDカードなどの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にSDカードなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
	パーキングブレーキコードを接続していない。	パーキングブレーキコードを正しく接続してください。⇒『取付要領書』
音声案内時やハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音がとぎれたり、聞こえづらくなる。	消音設定がされている。	消音するタイミングや消音レベルを調整してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。(『ユーザーズガイド』ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP9をご覧ください。)
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください。⇒『取付要領書』
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。

SD/USB

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	SDカード内に保存されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルの位置が正しくない。	SDカード内の正しい位置に移動させてください。→P48の「SDカードに関するご注意」
SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

症状	原因	処置
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/home.html

iPod		
症状	原因	処置
接続できない。	iPod用接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒『取付要領書』
ビデオが再生できない。	接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 接続したiPodとの認証に失敗した。	ビデオ機能に対応したiPodでない、ビデオはご覧になれません。 再度、接続して認証を行ってください。

Bluetooth Audio		
症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth機器登録をしていない。 登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。	Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→P15の『携帯電話を登録しよう』 Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP9をご覧ください。)
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0以下である。	プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP9をご覧ください。)

Bluetooth		
症状	原因	処置
Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。	Bluetooth機器登録をしていない。 接続していた携帯電話を別の携帯電話に変えた。	接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→P15の『携帯電話を登録しよう』 変えた携帯電話を本機に登録するか、登録済みの携帯電話に変えた場合は携帯電話の切り換え操作を行ってください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー(残響音)が大きいく聞こえる。	通話相手の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。	エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみに、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞きとりにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行規制のかかった操作を行おうとした。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店または三菱電機修理受付窓口にご相談ください。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。		
付近にルート探索対象道路がありません。		
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	目的地または出発地の場所が適切ではない。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。		
日時データがないため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。⇒「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP9をご覧ください。)
自車位置修正できませんでした。	自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。	周囲に自車位置修正可能な道路(一般道路と有料道路が並行しているような道路)を走行時に操作してください。

Bluetooth

メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話との接続に失敗しました。	何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。	ナビゲーションを操作して、携帯電話を接続してください。
現在削除はできません。	使用中のBluetooth機器を削除しようとした。	Bluetooth機器の使用を中止してから、削除してください。

SDカード

メッセージ	原因	処置
このSDカードは本機では使用できません。	本機で使用できないSDカードを挿入した。	本機が対応するSDカードをご確認ください。→P50の「仕様」
	SDカードが正しくフォーマットされていない。	専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/home.html

USB		
メッセージ	原因	処置
このUSBメモリーは本機では使用できません。	本機で使用できないUSBメモリーを接続した。	本機が対応するUSBメモリーをご確認ください。→P50の「仕様」

iPod		
メッセージ	原因	処置
iPodの接続に失敗しました。接続し直してください。	何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。

Bluetooth Audio		
メッセージ	原因	処置
接続対象機器が未設定のため、操作できません。	Bluetooth機器を登録していない。	接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP9をご覧ください。)
AV機器との接続に失敗しました。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能が「オフ」になっている。	Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能を「オン」にしてください。

SD/USB		
メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。	本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→P41の「再生できるファイルとメディアの種類」

本体リセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

メモ

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 **△**と**(現在地)**を2秒以上同時に押す

▼
本機が再起動します。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→P50の「仕様」
- 直射日光の当たった状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見つづくなりますので、直射日光をささげてください。

■LEDバックライトについて

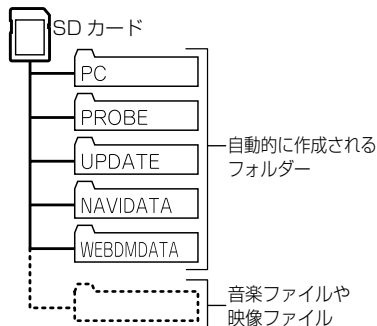
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

■お手入れについて

- 液晶画面に付いたほこりや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

SD カードに関するご注意

- 本機で使用したSDカードには、以下のフォルダーが自動的に作成される場合があります。



上記のフォルダーの内容は変更しないでください。SDカードに音楽ファイルや映像ファイルを保存して本機で再生する場合は、上記のフォルダー以外に保存してください。

USB 機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外(USB扇風機などは)は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。

■保管上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod に関するご注意

■取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■著作権について

iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線LANを利用したAV機器：防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器：ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - * 自動制御機器：その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
 - * アマチュア無線局など

2.4FH1

2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。

- ② 「FH」変調方式を表します。
- ③ 「1」想定される干渉距離（約10 m）を表します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

アフターサービスについて

調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店が弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱電機カーインフォメーションセンターにお申し付けください。

■お問い合わせ先

三菱電機カーインフォメーションセンター
フリーダイヤル 0120-182-710

（土・日・祝日・弊社の休日は除く/9:00～17:30）

仕様

共通部

使用電圧：.....DC14.4 V
(10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
最大消費電流：.....10 A
アース方式：.....マイナスアース方式
使用温度範囲：.....-10 °C ~ +60 °C

GPS部

受信方式：.....12チャンネルマルチチャンネル受信方式

オーディオ部

最大出力：.....50 W × 4
負荷インピーダンス：.....4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)
プリアウト最大出力レベル：2.2 V
13バンドグラフィックイコライザー：
周波数：.....50 Hz/80 Hz/125 Hz/
200 Hz/315 Hz/
500 Hz/800 Hz/
1.25 kHz/2 kHz/
3.15 kHz/5 kHz/
8 kHz/12.5 kHz
調整幅：.....± 12 dB (2 dB/step)
スピーカーセッティング：
調整幅：.....- 24 dB ~ + 10 dB
(1 dB/step)
カットオフ周波数：
ハイパスフィルター：50 Hz/63 Hz/80 Hz/
100 Hz/125 Hz
ローパスフィルター (サブウーファー)：
50 Hz/63 Hz/80 Hz/
100 Hz/125 Hz/
160 Hz/200 Hz
カットオフスロープ：
フロント、センター、リア：- 6/- 12/- 18 dB/
oct.
サブウーファー：.....0/- 6/- 12/- 18 dB/
oct.
サブウーファー位相：.....ノーマル/リバース
デコーダー：.....リニアPCM、MPEG-2
AAC

外部入出力

映像入出力レベル (リアモニター-OUT)：1.0 Vpp
± 10 % (signal : White
100 %)
外部音声最大入力レベル (AUX)：1.0 Vrms以下

FM チューナー部

受信周波数帯域：.....76.0 MHz ~ 99.0 MHz
音声：.....ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：.....522 kHz ~ 1 629 kHz
(9 kHz)
音声：.....モノラル

モニター部

画面サイズ：.....7 V型ワイドVGA
画素数：.....1 152 000 画素
[水平800 × 垂直480 ×
3 (RGB)]

方式：.....TFT アクティブマトリクス
方式
バックライト：.....LED 光源

SDカード部

フォーマット：.....Ver.3.0
最大メモリ容量：.....128 GB (SDXC使用時)
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32/
exFAT (SDXC使用時)
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)
AAC：.....MPEG-4 AAC
(Ver.10.01.22以前の
iTunesでエンコードされた
もののみ)
MPEG4 (MP4)：.....MPEG-4 Video + AAC、
H.264/AVC + AAC
AVI：.....MPEG-4 Video + MP3、
MPEG-4 Video + AC3
WMV：.....WMV (VC-1) + WMA
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM

USB部

対応メディア：.....USB2.0 High Speed
最大電流：.....1 A
最大メモリ容量：.....16 GB
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)
AAC：.....MPEG-4 AAC
(Ver.10.01.22 以前の
iTunesでエンコードされた
もののみ)
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM
USB CLASS：.....MSC (MASS STORAGE
CLASS)

Bluetooth部

Bluetoothバージョン：.....Bluetooth3.0+EDR
出力：.....最大+4 dBm (Power
class2)

外形寸法

本体取付寸法：.....178 (W) mm ×
100 (H) mm ×
164 (D) mm
本体ノーズ寸法：.....170.4 (W) mm ×
96.3 (H) mm ×
17.2 (D) mm
GPS アンテナ：.....33 (W) mm ×
36 (H) mm ×
14.3 (D) mm

質量

本体：.....2.0 kg

付属品

GPS アンテナ：.....1 *
取付用ネジ類：.....一式**
コード類：.....一式**
取扱説明書：.....1
取付要領書：.....1

サービス窓口のご案内：...1

保証書：.....1

※ 接続・取り付け部品の詳細につきましては、「取付要領書」をご覧ください。

メモ

・本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

■第1章 総則

(約款の適用)

第1条

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条

当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条

この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

■第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条

VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条

当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

■第3章 契約

(契約の単位)

第6条

当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条

VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条

VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条

加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条

加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条

当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

■第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

■第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条

当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

■第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ない困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

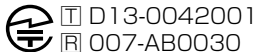
■別表 視聴料金

視聴料金：300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



- Windows Mediaは、米国 Microsoft Corporationの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IntelおよびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- LightningはApple Inc.の商標です。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、および iPod touch は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。



- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodあるいはiPhone専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、三菱電機株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

- MHL、MHLロゴおよび Mobile High-Definition Link という用語は、MHL、LLC の米国および他の国々における商標または登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「マップクリップ」はインクリメント P (株) の登録商標です。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です。
- NaviCon は株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Entier (エンティア) は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
 - 1 最終需要家は、特定の 1 台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
 - 2 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であるを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
 - 3 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
 - 4 最終需要家は、第 1 項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
 - 5 は一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きをとるものとします。
 - (1) 輸出するとき。
 - (2) 海外へ持ち出すとき。
 - (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
 - (4) 前 3 号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第 5 条第 3 項及び第 4 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第 6 条第 2 項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

第 6 条第 1 項第 3 号又は同条第 2 項第 2 号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要

- 注 2: 家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。
- その他、製品名などの固有な名詞は各社の商標又は登録商標です。
 - お客様が録音 (録画) したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
 - 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であることを、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。

- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外觀は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

● bsdiff

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

● FreeType

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://git.savannah.gnu.org/cgi/freetype/freetype2.git/tree/docs/FTL.TXT>)

● giflib

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

● libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

● libmng

COPYRIGHT NOTICE:

Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn (gerard@libmng.com)

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Gerard Juyn

Glenn Randers-Pehrson

The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- 3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products.

If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Parts of this software have been adapted from the libpng package. Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package. It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively).

This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level. (future modifications may include some more support for creation and or editing)

● libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.41, December 3, 2009, are

Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:
There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement.
There is no warranty that our efforts or the library

will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are

Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are

Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are

Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- 3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like: `printf("%s",png_get_copyright(NULL));`

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png (98x31)".

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net December 3, 2009

● libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which

are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:
Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard. Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: bree@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com

trio files

Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

- **MD5**

Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

- **OpenGLES2.0, EGL1.4**

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008 . <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>)

- **PowerVR**

This product includes components of the PowerVR™ SDK from Imagination Technologies Limited

- **protobuf**

Copyright 2008, Google Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Code generated by the Protocol Buffer compiler is owned by the owner of the input file used when generating it. This code is not standalone and requires a support library to be linked with it. This support library is itself covered by the above license.

- **rapidjson**

Copyright (C) 2011 Milo Yip

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to

whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **SEE: Simple ECMAScript Engine**

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:

Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3 Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies. Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

- **speex**

Copyright 2002-2008 Xiph.org Foundation

Copyright 2002-2008 Jean-Marc Valin

Copyright 2005-2007 Analog Devices Inc.

Copyright 2005-2008 Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation (CSIRO)

Copyright 1993, 2002, 2006 David Rowe

Copyright 2003 EpicGames

Copyright 1992-1994 Jutta Degener, Carsten Bormann

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

五十音順

あ

アイドリングアッテネーター 40

い

一方通行表示 23
緯度経度 22
インジケーター 26

え

エコステータス 23

お

オーディオ設定 40
オートサイレントガイド 37
オートリルート 33
音楽ファイル 38,41
音声案内 ユーザーズガイド
「ナビゲーション基本操作 - 走行中の音声案内」
音場 40
音量 18

か

カスタム機能 18

き

機能設定 24

く

グラフィックイコライザー 40

け

携帯電話 15
携帯電話メニュー 24
言語 22
検索履歴 ユーザーズガイド
「検索 - 登録地・検索履歴から探す」

こ

交差点案内表示 36
工場出荷時（状態） ユーザーズガイド
「設定 - 設定初期化」
交通情報 38

さ

再探索 22
サイレントガイド 33

し

自宅 22
渋滞オートガイド 34,37
渋滞情報 23,34

受話音量 24
消音タイミング 24
消音レベル 24
情報メニュー 23
新ルート 33

す

スケール 29
スピーカー出力設定 40

せ

設定・編集メニュー 24
セントラルメニュー 22

そ

操作音 18
ソース別設定 24
ソースレベルアジャスター 40

た

タイムアライメント 40
ダイレクトスケールキー 29

ち

地図スケール 23
地図データ 10
駐車場履歴 24

て

データ初期化 22
デバイスナンバー ユーザーズガイド
「情報 - デバイスナンバーを確認する」

と

ドライバズビュー 23
ドライブプラン 24

な

ナビスタナビ 14

ね

燃費推定 24

の

ノースアップ 23

は

バージョン情報 23
ハイウェイモード 23
早送り 38
早戻し 38

ひ

ビューメニュー 23

ふ	ETC 利用履歴	23
	フェーダー/バランス	40
	フォーマット	10
	プレイリスト	41
へ		
	別道路	ユーザーズガイド
	「調整・補正 - 一般道または有料道へ自車位置 を修正する」	
	ヘディングアップ	23
ほ		
	他の検索	22
	ポップアップメニュー	25
ま		
	マップクリップ	23
	マップコード	22
も		
	元ルート	33
ら		
	ラジオ	22,38
り		
	リスニングポジション	40
	リセット	48
	履歴情報	11
る		
	ルートアドバイザー	33
	ルート情報	23
	ルート編集	24
	ルートを消去	34
ろ		
	ロゴマーク	23,35

アルファベット順

A		
	AUX	38
	AV サイドビューアングル	35
	AV ソース	38
	AV メニュー	22
B		
	Bluetooth Audio	22
D		
	DRM	41
E		
	ETC カード	ユーザーズガイド
	「その他の機器 - ETC サービスの利用」	
I		
	iPhone	10
	iPod	10
M		
	m3u	41
	MAPCODE	22
N		
	NaviCon	13
	NAVI メニュー	22
S		
	SD カード	16
	SD の初期設定	ユーザーズガイド
	「メモリーメディア - SD の初期設定を行う」	
U		
	USB	23,38,48
	USB メモリー	23,38,48
V		
	VICS WIDE	27
	VICS 情報	23,51
	VICS 放送局選択	ユーザーズガイド
	「情報 - 放送局を選ぶ」	
W		
	Windows Media Player	41

記号・マーク一覧

地図関連	
高速・有料道	冠水注意地点
国道	一時停止
主要地方道	道の駅
都道府県道	空港
一般道	ヘリポート
細街路	フェリー乗り場
鉄道	観光船乗り場
県境	タワー
国道番号	灯台
県道番号	墓地
有料道道路番号	公共施設
一方通行	警察署
海・川・湖沼	消防署
公園・緑地・芝生など	病院
施設敷地	郵便局
施設	NTT
駅舎	高校
ゾーン30エリア	小学校
緊急情報	中学校
拡張事象規制	大学
インターチェンジ/ランプ名	高専
交差点名	自動車関連施設
ランプ入口	温泉
ランプ出口	遊園地・その他
信号機	乗馬クラブ
指示点	キャンプ場
山岳	ポウリング場
公園	スポーツ施設
工場	ゴルフ場
トンネル出入口	その他スポーツ施設
マンション	野球場・スタジアム
サービスエリア	体育館
パーキングエリア	スキー場
インターチェンジ	海水浴場
料金所・スマートICゲート	ヨットハーバー
駐車場	モータースポーツ
ボトルネック踏切	テニスコート
開かずの踏切	美術館、博物館
	動物園
	植物園
	水族館
	ホール・劇場
	神社
	寺
	教会
	城
	牧場
	競馬場
	デパート
	DIYショップ
	ホテル
駐車場マップ	
エレベータ	エレベータ
料金所	料金所
入り口	入り口
出口	出口
トイレ	トイレ
上り	上り
下り	下り
柱	柱
検索・ルート関連	
有料道路施設の誘導ポイント	有料道路施設の誘導ポイント
目的地	目的地
立寄地	立寄地
出発地	出発地
案内地	案内地
案内中ルート(有料道)	案内中ルート(有料道)
案内中ルート(一般道)	案内中ルート(一般道)
案内中ルート(細街路)	案内中ルート(細街路)
駐車場案内ポイント	
オートパーキングメモリー	オートパーキングメモリー
地図収録案内ポイント	地図収録案内ポイント
プロップ案内ポイント	プロップ案内ポイント
タウンロードした案内ポイント	タウンロードした案内ポイント
渋滞情報関連	
VICS情報	VICS情報
一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調
VICS渋滞情報(統計)	VICS渋滞情報(統計)
一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調
規制区間	規制区間
入口閉鎖・通行止	入口閉鎖・通行止
速度規制	速度規制
進入禁止	進入禁止
通行止め・閉鎖	通行止め・閉鎖
大型通行止め	大型通行止め
対面通行	対面通行
片側交互通行	片側交互通行
徐行	徐行
車線規制	車線規制
チェーン規制	チェーン規制
凍結	故障車
工事	作業
事故	事故
障害物・路上障害	障害物・路上障害
入口制限	入口制限
入口閉鎖	入口閉鎖
気象	行事
災害	火災
原因/事象なし	原因/事象なし
気象・災害速報	気象・災害速報
その他	
駐車場(空車)*	駐車場(空車)*
駐車場(混雑)*	駐車場(混雑)*
駐車場(満車)*	駐車場(満車)*
駐車場(閉鎖)*	駐車場(閉鎖)*
駐車場(不明)*	駐車場(不明)*
充電スポット(空きあり)	充電スポット(空きあり)
充電スポット(混雑)	充電スポット(混雑)
充電スポット(空きなし)	充電スポット(空きなし)
充電スポット(閉鎖)	充電スポット(閉鎖)
充電スポット(不明)	充電スポット(不明)
区間旅行時間	区間旅行時間
特別警報(緊急情報)	特別警報(緊急情報)
※:右側は臨時駐車場	

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
 ※実際の色と異なる場合があります。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

< KFW17I > < CRA5149-A >

